

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: CODE X

COLOR: BLACK / BLUE / PURPLE

COVER STOCK: R2S™ SOLID REACTIVE

RG: 2.50 (LOW-MED/15P) Δ RG: 0.058 (MED/15P)

FACTORY FINISH: 3000-Grit Abralon®

TRACK FLARE POTENTIAL: 6+ (HIGH)

BACK END: 19.5 (1-20) MAX LENGTH: 16 (1-20)

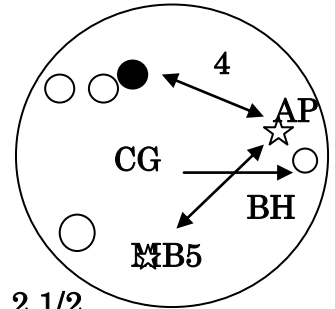
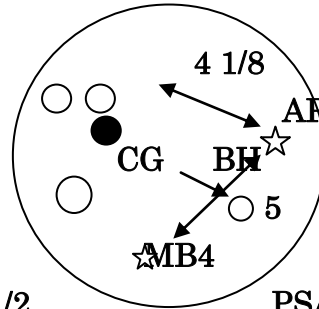


平成 29 年 11 月 7 日

レイアウト例

CODE ZERO

CODE X



PSA 31/2

PSA 2 1/2

CA55 度

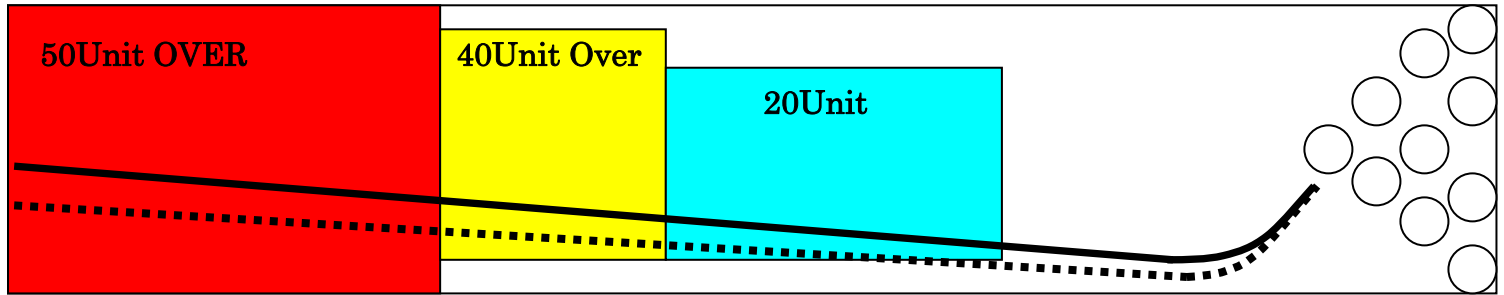
CA52.5 度

フラー幅 最大 6 1/8・間隔 1/8

最大 6 1/2・間隔 1/4

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】



0F

15F

27F

38F

45F

比較品ライン

CODE X

CODE ZERO

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アー	ク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強	1	2	3	4	5			
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○		比較品	△				

RAD4 コア



*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

今回の CODE X は世界発売のカタログ製品ですが、シリーズ初の R2S SOLID カバー素材が使われています。当然オイルに強くなっていますが、RAD4 コアとの好バランスが良く、レーン手前は幅広いフレア間隔になりますが、バックエンドではしっかり大きな曲りが得られました。

【ここがポイント】



このシリーズは全米でも驚異的にヒットしています。パールそしてハイブリッドと揃いましたが、やはり米国のボウラーもヘビーオイルでもバックエンドが角度のある曲りが欲しい要望が強くあり SOLID 素材でも負けない RAD4 を選んだのです。投球してみて初めに感じたのは、NANO 製品同様にオイルに強いのですが、コード X の方がバックエンド側での角度のついた曲りが得られました。NANO との違いが明確なのはピンアクションの(反発係数)違いですが、CODE の角度のついた曲りでは甲乙つけ難い感じでこのクラスになると他社製品とは大違いの十分な飛びをしてくれます。やはり CODE の威力は凄いと改めて感じさせる製品に仕上がっています。これも世界的にヒットする事間違いなしですね！

発売予定：平成 30 年 2 月中旬

テスト協力センター：本八幡ハタボウル

販売価格 ￥52,000 円 (税別)

テスター 石原 章夫プロ【HIGH SPORTS 専属契約プロ】